

## リーディング事業について

### 1 リーディング事業とは

「リーディング事業」は、一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」として、生物多様性の保全に取り組むきっかけとなるよう、市民や各主体にできることを具体的に示し、多くの人や主体に関わってもらうことで全市的な取組に発展させることを目指す。また、リーディング事業は、「2030年度までの目標」の達成を大きく推進することができるものとする。

※ リーディング事業は次期プランに掲載する。

### 2 リーディング事業において踏まえる視点

リーディング事業は、以下の視点を踏まえたものとする。

- (1) 市民や各主体にとって活動の意義が分かりやすく、共感を得られやすいテーマであること
- (2) 京都の暮らし・文化・産業の継承・発展に寄与するものであること
- (3) 身近な自然との距離や生物多様性への関心の程度に応じて、誰もが参加できる取組であること
- (4) 多様な主体の連携・協働により進めていく取組であること

### 3 リーディング事業の例

チマキザサや河川のヨシ等、京都らしさ支えてきた生物資源に着目し、京都における生物多様性の重要性や危機感を発信し、種や生態系の保全への機運を高め、市民や多様な主体が協働・連携しつつ、それぞれの立場から保全活動に貢献できる仕組みをつくる。

＜市民、各主体の役割＞

全主体：京都市産の生物資源を利用した商品の購入、生物資源や生態系の保全活動への寄付、生物資源や生態系の保全活動への参加等

事業者：京都産の生物資源を利用した商品・サービスの提供等

活動団体：生物資源や生息・生育地の保全等

大学：生物資源や生息・生育地の調査研究等

学校：生物資源に関する課題や地域との関わりについての学習等

行政：生物資源の現状と課題の発信、保全活動への支援等

※ リーディング事業における市民、各主体の役割については、誰もが参加できる取組であることを「行動シート」として分かりやすく図示し、市民、各主体の協働・連携を図る。(資料5-2参照)